

教育研究活動報告書

ふりがな 氏名	マーク ハドソン Mark Hudson	所属・職名	リハビリテーション学部・リハビリテーション学科・作業療法学専攻・教授
専門領域	先史人類学	学位称号	PhD 1996(平8)
最終学歴	1996(平8)オーストラリア国立大学文学部考古学・人類学学科卒業（博士課程）修了		
資格・免許等			
教育上の能力に関する事項			
担当科目	先史学概説・先史学特講・先史学方法論・考古学方法論・考古学入門・考古学特講・博物館学・博物館実習・先史学実習・先史学演習・外書購読・人類学・保健医療英語・子ども学総論・作業人類学特論		
教育方法の 実践例 教材の開発 教育改善活動等	「考古学入門」「考古学方法論」などで、特に人骨と動物骨等の関連について教えるときには骨標本を利用し、学生が理論だけではなく、本物の自然遺物を通して学べるような実践を行っている。筑波大学に医学部の解剖学教室の協力を得て行った。「人類学」「博物館学」などの大教室で行う講義では、独自の資料を背景としたパワーポイントを作成し、文章のみでなく写真や地図等の視覚的資料を教育的な効果を上げることを図った。併せて、新しい発見や研究の最新情報を取り入れるようにした。平成17年からの「先史学実習」では、宮古島市や沖縄県の教育委員会の協力を得て、宮古島の遺跡調査を行っている。この調査を通して、教科書のみでなく実践的な発掘を体験することができる。「保健医療英語」では、平成22年度から小説や映画を利用して、医学と健康についての授業を構築している。		
職務上の実績に関する事項			
考古学・先史学コース運営員、人文学類教務委員、危険物処理委員（平成18年）、FD委員、共通教育委員、交際交流委員、国際化推進室委員、等			
研究業績等に関する事項			
《平成19年度～平成23年度》			
著書・学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所・発表雑誌等 又は発表学会等の名称	発行又は 発表の年月
<u>著書</u> 1) Elsevier Encyclopedia of Archaeology 2) アイヌ研究の現在と未来 3) Occupational Therapies Without Borders: Towards an Ecology of Occupation-Based Practices. 4) 子ども学の進め 5) 神埼の歴史から学ぼう：自然と人の生活	共著 共著 共著 共著 共著	Elsevier 北海道大学出版会 Elsevier 佐賀新聞社 人間活動持続性研究グループ	2008年3月 2010年3月 2011年1月 2012年3月 2012年3月
<u>学術論文</u> 1) Possible steatopygia in prehistoric central Japan: evidence from clay figurines 2) Occupational therapy and the current ecological crisis 3) Hunter-gatherers and the behavioral ecology of human occupation 4) The South Tyrol as occupationscape: Occupation, landscape and ethnicity in a European border zone	共著 共著 共著 共著	Anthropological Science 116: 87-92. British Journal of Occupational Therapy 71: 545-548 Canadian Journal of Occupational Therapy 76: 48-55. Journal of Occupational Science	2008年6月 2008年12月 2009年2月 2010年10月 2012年2月

<p>5) Occupation mediates ecosystem services with human well-being</p> <p>6) Landscape, birds and occupation in Terry Tempest Williams' Refuge: Toward an ecocritical theory for occupational therapy.</p>	<p>共著</p> <p>共著</p>	<p>Journal of Occupational Science</p> <p>西九州リハビリテーション研究 5</p>	<p>2012年3月</p>
<p>研究助成等</p>	<p>1. 平成 14 年 (2002) 文部省科学研究費基盤研究 B 第 14340274 号「琉球列島の先史時代から近世に至る人びとの生活誌復元」(研究代表者琉球大学医学部 助教授 土肥直美) の研究協力者となる。</p> <p>2. 平成 17 年 (2006) 文部省科学研究費特定領域研究第 18024001 号「北東アジアにおける中世考古学学術情報ネットワークの構築」(研究代表者北海道大学文学部 助教授 加藤博文) の研究分担者となる。</p>		
<p>学会及び社会における活動等</p>			
<p>(所属学会)</p> <p>American Anthropological Association; Society for American Archaeology; American Association of Physical Anthropologists; Society for East Asian Archaeology; Society for Conservation Biology; Indo-Pacific Prehistory Association; Society for Applied Anthropology; Alaska Anthropological Association; Association for Environmental Studies and Sciences; 日本人類学会、日本作業科学研究会 北海道考古学会、ジョン・クレア研究会、文学・環境学会</p>			